

一時保育(一時預かり)

保護者の不定期な就労や病気、育児などに伴う心理的・肉体的負担解消のため一時的な保育を行ないます。

- ・市内の認可保育園(一部実施なし)
- ・ぼっぼ保育室(ヴィーブル内)

問い合わせ先 各認可保育園(※希望する保育園にお問い合わせください)
ぼっぼ保育室 ☎247-3668

病児・病後児保育

病気時や病気の回復期で保育所・幼稚園に預けることができない場合、または家庭において安静な療養ができない子どもを一時的に預かります。

- ・すこやか(ふれあい館内)
- ・ひかり(南ヶ丘福祉支援センター内)

問い合わせ先 すこやか ☎242-7008
ひかり ☎288-2240

ショートステイ

保護者の都合で一時的に養育できない子どもを、一時的に預かります。(7日以内)病気、出産、看護、事故、災害、冠婚葬祭、転勤、出張、学校行事など。

トワイライトステイ

保護者の仕事などの理由で帰宅が夜間になる場合などに、夜間または宿泊して子どもを預かります。



問い合わせ先 子育て支援課 ☎242-1159

ファミリー・サポート・センター

子育てに関する支援が必要な利用会員とサポートを提供する協力会員で構成され、地域の相互援助活動を行います。

以下の「こどもの緊急サポート」も開始しています。

- ①病児または病気回復期の児童の預かり
- ②保育所などへの送迎および病院受診の付き添い
子どもの発熱などで保育園から連絡があった場合に、仕事などで急な帰宅が困難な親に代わり子どもを迎えに行き、病院受診付き添いや受診後の送迎を行ないます。
- ③宿泊を伴う預かり
出張や入院などで緊急な場合や変則勤務の場合、宿泊のお預かりをします。
※宿泊は病気でない子どもを対象としています。

問い合わせ先 ふれあい館 ☎242-7008

子育て支援センター・つどいの広場

乳幼児(おおむね0～3歳)とその親が気軽に集い、遊べる場所です。

子育ての不安や悩みを共有し合う仲間と打ち解けた雰囲気の中で交流ができます。また、担当職員による育児相談などもできます。ただし、託児所ではありませんので、子どもだけの利用はできません。

- ・地域子育て支援センター(ふれあい館)
- ・つどいの広場
ひかりの子(合志中部保育園)
わかば(このみ坂保育園)
ぼっぼの部屋(ヴィーブル内)

問い合わせ先 ふれあい館 ☎242-7008
合志中部保育園 ☎248-0080
このみ坂保育園 ☎247-6630
ぼっぼの部屋 ☎247-3668



子育て支援に向けた取り組み

次世代育成支援行動計画の進捗状況

後期行動計画を踏まえた事業計画が、平成26年度の目標に向けて、どの程度達成できたのか評価しています。平成23年度の次世代育成支援に関する事業の進捗状況を報告します。

策定した後期行動計画には、全部で257の事業があります。

一つひとつの進捗状況の詳細は、市ホームページに掲載しています。

※項目ごとに事業数を算出していますので、重複する事業もあります。



特定事業の実施状況 (特定事業：市町村が実施に努めなければならない事業)

事業名/項目	平成22年度実績	平成23年度実績	平成26年度目標値	事業の内容
通常保育事業の定員数	1,490人	1,550人	1,700人	就労と育児の両立を支援します。安心して預けることができる体制づくりを実施しています。
延長保育事業の実施箇所数	16カ所	16カ所	17カ所	開所時間を超過して保育を行ないます。全ての認可保育所で実施しています。本年4月からは、新設保育所でも実施しています。
休日保育事業の実施箇所数	1カ所	1カ所	2カ所	日曜日・祝日に保育する事業で、ヴィーブルの「ぼっぼ保育室」で実施しました。本年4月からは、新設園「このみ坂保育園」でも実施しています。
放課後児童健全育成事業(学童保育)の実施箇所数、登録人数	10カ所 442人	11カ所 475人	10カ所 660人	昼間家庭に保護者のいない小学校児童に対して、放課後の生活の場を提供しました。

※平成26年度目標値は、行動計画策定時の数値です。

平成23年度の主な取り組み

待機児童問題の取り組みとして、保育所の定員増を行ないました。

保育所の待機児童対策として、保育所の新設・増設を進め、大幅な受入数の拡大を図り定員210人の増員を実施しました。

こうしおんがく保育園(定員90人)およびこのみ坂保育園(定員90人)2つの保育所を新設。

ひかりの丘保育園を定員60人から90人に定員増を行ないました。

本年4月からは、定員が1,760人になりました。



大規模化している学童クラブを分割し、適切な環境整備を行ないました。

学童クラブの規模としては、1クラブ40人までが適切とされています。

70人を超える児童を抱え大規模化した西合志南小学校の学童クラブを新たに建築し、分割することにより健全な生活環境を確保しました。

